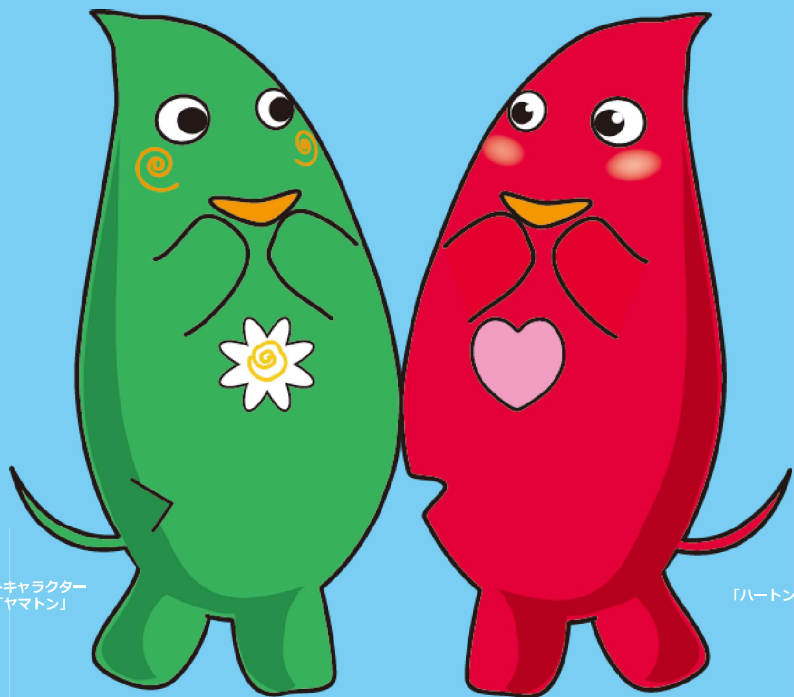


歩いて知ろう 大和市のまちづくり賞 ～大和駅周辺の今と昔～



大和市イベントキャラクター
「ヤマトン」

「ハートン」

令和7年11月16日(日)
文化創造拠点シリウス
生涯学習センター 612文化創造室



良い写真が撮れたらご提出ください。
(締切:令和7年11月21日(金))

大和市 まちづくり部 まちづくり推進課



★歩いて知ろう大和市のまちづくり賞

これまでの「まちづくり賞」受賞事例と、「伝えたい残したいやまとの景観」選定事例を巡り、身近な景観、まちづくりへの関心や地域におけるまちづくり活動へとつなげることを目的としています。

★伝えたい残したいやまとの景観

市制50周年を記念して、平成20年に、市内にある「今後も残していきたい景観」、「多くの人に見てほしい景観」を公募し、44の景観が選定されました。

★まちづくり賞

快適なまちづくりを推進し、大和らしいまちを創造することを目的に市内のうるおいあるまち並みや建物、ちょっとした工夫により、まちに彩りを与えている事例等、地域のまちづくりに貢献した個人や団体を表彰する制度です。

★景観とは

これらが一体となって見えてくるもの



★大和市景観計画

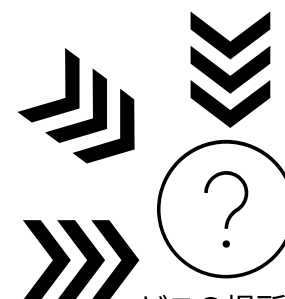
「守るべきルール」と「望ましい景観の姿」を定めています。

【景観づくりの基本的な考え方】

- ①地域環境と調和させましょう ②歩く快適さを高めましょう
- ③身近な緑を増やしましょう

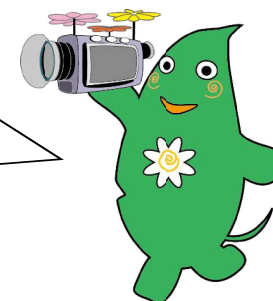
～大和駅周辺の今と昔～

大和駅周辺の昔の写真



どこの場所でしょう

次ページにまちづくり賞受賞事例と、伝えたい残したいやまとの景観選定事例の受賞当時の写真があるよ。まち歩きをしながら現在の様子と比べてみよう！



大和市イベントキャラクターヤマトン

歩いて知ろう 大和市の まちづくり賞	まちづくり賞	伝えたい 残したい やまとの景観	大和市 景観計画 ・景観条例	大和市 ウォーキング マップ

まちづくり賞受賞事例 伝えたい残したいやまとの景観選定事例



●伝えたい残したいやまとの景観

A：ふれあいの森



B：大和駅前広場とプロムナード



C：やまと公園（中央）

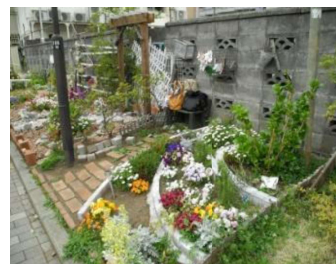


D：大和天満宮（大和南）

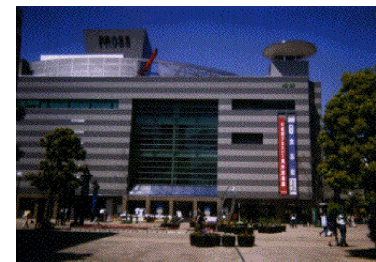


★まちづくり賞受賞事例

1：大和駅東側プロムナード ガーデニングプロジェクト（平成24年度）



2：PROSS（プロス）（平成8年度）



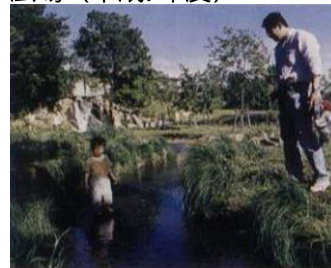
3：グリーンアップセンター
コミセン草柳会館（平成8年度）



4：都会のオアシス
大和中央パークホームズ（平成12年度）



5：引地川公園
親水広場（平成9年度）



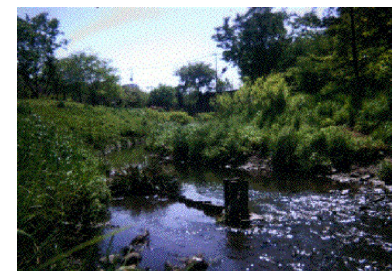
6：大和駅西側プロムナード
（平成7年度）



7：大和幼稚園（平成13年度）



8：引地川公園 ふれあい広場
（平成8年度）



まちづくり賞受賞事例 伝えたい残したいやまとの景観選定事例



● 伝えたい残したいやまとの景観

A：ふれあいの森

引地川を挟むように泉の森の南側に広がる約9haの森です。自然の状態に還元された引地川では川遊びなどもでき、水と緑と四季折々の花々にふれあえる森となっています。相鉄線の線路脇斜面は、春になると一面ピンク色のシバザクラに覆われ、この森の景観で最も知られたものとなっています。

C：やまと公園（中央）

大和駅の近く、小田急線沿いにある児童公園です。付近一帯が警察署、税務署、保健福祉事務所などの公共施設が集まったなかで、貴重な緑の景観を形成しています。また、市内の産業をイベント形式で幅広く紹介する「やまと産業フェア」の会場にもなっています

B：大和駅前広場とプロムナード

プロムナードは地下化された相鉄線の線路跡を遊歩道として整備し、平成8年に完成したものです。大和駅前広場及びそれと一体となった東西約1kmのプロムナードは、様々なイベント会場としても活用されており、一年を通して賑わいを見せています。

D：大和天満宮（大和南）

先の大戦中、厚木基地内に造られた厚木空神社から戦後まもなく持ち出されたほこらを基に、大宰府から天満宮を勧請したのが大和天満宮の由来です。その後は学問の神様、菅原道真公を奉る天満宮として地域の人々に大事にされてきました。

★まちづくり賞受賞事例

1：大和駅東側プロムナード ガーデニングプロジェクト（平成24年度）

大和のメインストリートで彩られている草花の演出が楽しく表現されている。それぞれの区画に工夫があり、競い合うことで一定の水準が維持されている。市民の協力により、味気なかった通りがよみがえっている。

3：グリーンアップセンター コミセン草柳会館（平成8年度）

建物は、水平ラインを強調し、安定感を創出している。また、風格のあるデザインは、とても好感が持てる。周辺の緑との調和を図りながらも、ランドマークとしての主張も感じとれ、緑の中の公共施設にふさわしい事例となっている。

5：引地川公園 親水広場 （平成9年度）

「水と緑と花」をテーマに、池や小川や滝によって、子供たちが水や水辺の動植物と親しむことができる広場になっている。自然を前面に掲げ、多くの人を楽しみることができる新たな水辺の憩いのスペースを創出している。

7：大和幼稚園（平成13年度）

駅からの商店街の並びにあって、カラフルなさくのデザインや、開放的な園庭に置かれた様々な遊具のデザインが、周辺の街並みに楽しさを与えている。

2：PROSS（プロス）（平成8年度）

駅前でありながら、色彩や形態での主張をおさえ、派手さのないシンプルなデザインにまとめられている。また、プロムナードや駅前広場とのつながりや調和を意識し、全体としてのまとまりが感じられる。

4：都会のオアシス 大和中央パークホームズ（平成12年度）

建物前面を緑豊かな曲線状の歩道で整備し、都心部にあって人が憩える魅力ある空間となっている。

6：大和駅西側プロムナード （平成7年度）

広幅員の空間だけでも、いままでの大和の込み入った駅前のイメージを払拭するものであり、デザインも暖かみのある柔らかいイメージのもので、心優しい空間を創出している。買い物帰り等で、誰もが安心して憩える場として利用され始める等、大和の駅前にふさわしいシンボリックな空間となりつつある。

8：引地川公園 ふれあい広場 （平成8年度）

コンクリート護岸を撤去し、見事に自然の川を還元させた。自然を生かした公園、ふるさと感じさせる川、周辺の緑がうまく調和し、良好な景観を形成している。また、自然にやさしい環境づくりにも取り組み、自然の力を利用した整備手法は、今後の整備の参考事例ともなっている。